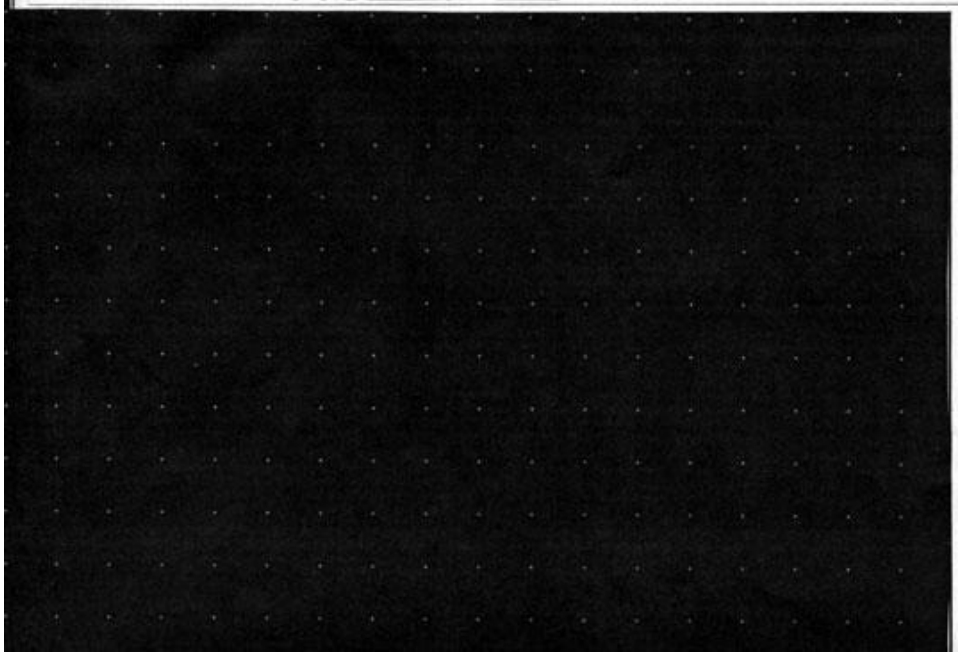

こだわり泉州の味82軒

「脱サラ」編集長と主婦らが厳選

高石の会社出版　グルメ本人気

高石市在住の脱サラ編集長とスタッフの主婦たちが、自らの足と舌で確かめたお店を紹介する本格的なグルメ本「泉州のおいしいお店」をこのほど出版した。美しい料理の写真やきめこまかな情報が好評で、メンバーは第二弾も手がけたい、と意気込んでいる。

メニューやサービス　子供連れに役立つ情報も

編集長の小田原大輔さん（[illegible]）は、岸和田市生まれ。学校卒業後、吹田市に住んで、各戸配布するフリーペーパーの仕事をしていたとき、地元のおいしい飲食店を紹介する本が好評だったのをみて、「生まれ育った泉州のお店を紹介する本が欲しい」と、思い立った。フリーペーパーの仕事をやめた後しばらく、岸和田で飲食店関係を営業して回る仕事についたが、やはり本の出版が頭から離れなかったため、ついに脱サラ。

合資会社「キット・コーポレーション」を設立し、平成十四年三月に堺市を除く泉州各市町の主婦を中心とした地元住民を対象にしたフリーペーパー「Ｋｉｔ Ｐｒｅｓｓ」を発行。季刊で十二万世帯を対象に、飲食店をはじめさまざまな暮らしの情報を無料で提供し、一方で応募してきた近所の主婦や独身女性をスタッフに迎えて、本出版へ足場を固めた。

スタッフの一人で和泉市に住む主婦、穴瀬育子さん（[illegible]）は、「大阪市から引っ越してきたとき、地元のことが何も分からなかったので、キットプレスを見て大喜びでスタッフに応募しました」と、参加の経緯を話す。

今回出版したグルメ本は、さまざまなジャンルの八十二軒を紹介。味だけではなくいいお店の情報という意味で題を平仮名の「おいしい」としたほか、ページをめくると、いずれもプロが撮影したカラーの料理写真が満載。いずれもスタッフ自身が味わい、話を聞いて、掲載にこぎつけた苦労のたまものだ。

特にこだわったのは、子供へのサービスの有無と内容。子供イスやメニューはあるか、座敷やオムツ替えシートはどうかーなどのほか、アメサービスがあることまで、ファミリーから見た欲しい情報が細かく掲載されている。

昨年十二月からスタッフに加わった、岸和田市在住の宮本香季さん（[illegible]）は「営業の仕事は初めてで、掲載を断られることも多いけど、いいなと思ったお店が一軒でも多く紹介できればうれしい」。小田原さんは「赤字で苦しいですが、地元のことを少しでも知ってほしい、という一心で取り組んでいます」と、第二弾に向けて意欲を話す。

大阪市内の主要書店と堺市以南の主な書店で扱っている。八百八十円。購入希望者は、郵便振替でも可。口座番号００９６０ー１ー１

キットプレ

おいしい店」ま

フリーペーパ

春号で終了す

ムページは継続

「泉州のおいしいお店」

打ち合わせをする編集長の小田原さんとスタッフの穴瀬さん（左）、宮本さん

平成15年（2003年）5月14日　水曜日　　産経新聞　朝刊